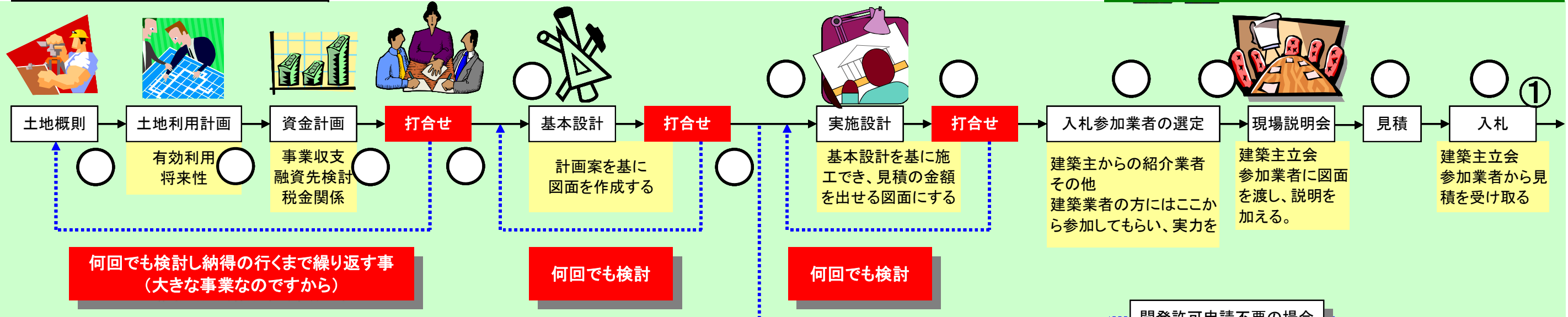


建築計画から完成・運営まで

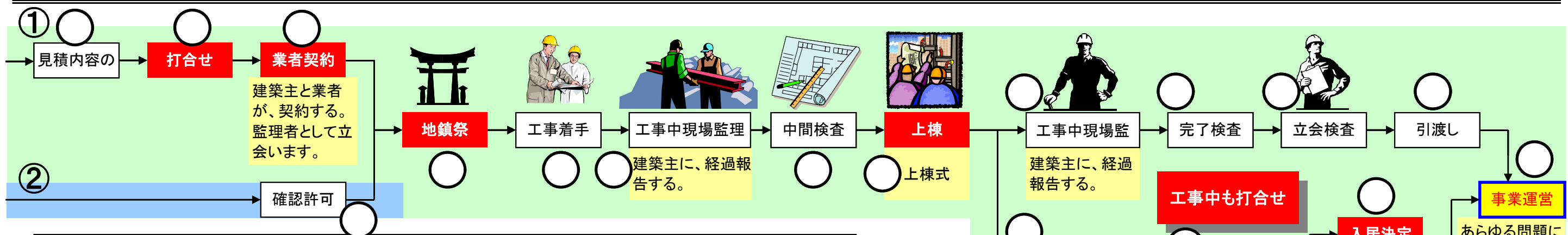
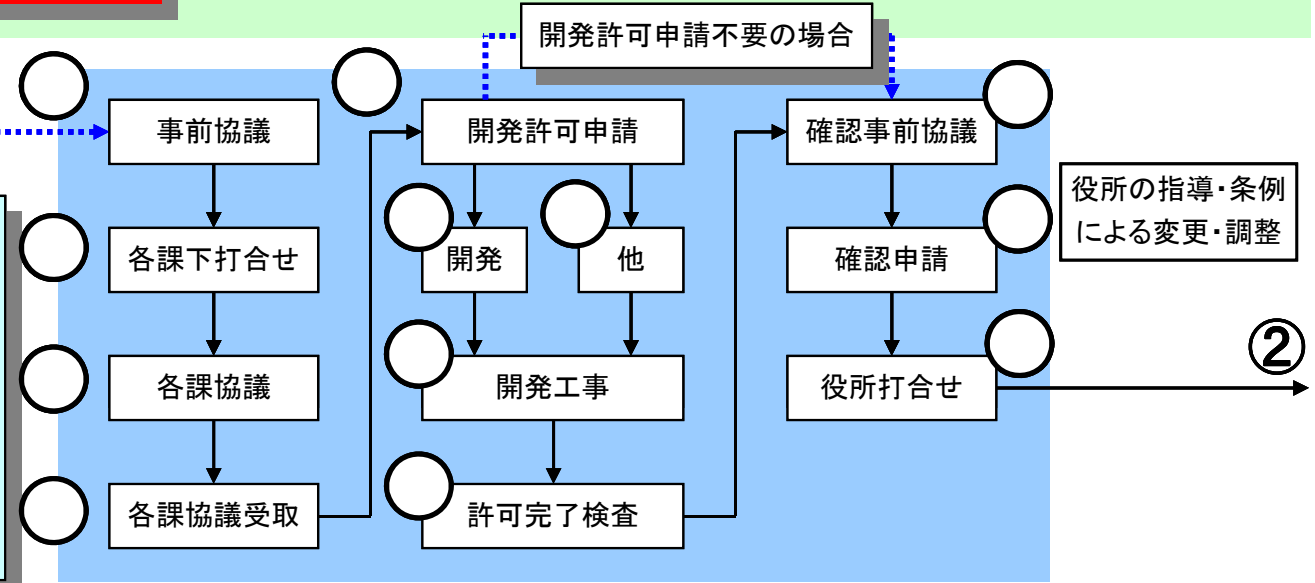


・建築主のイメージ・希望を良く説明して、十分な意思疎通をはかり、図面に表現してもらう。そのためにも、建築主の立場で考えてくれる専門家に依頼する事。

専門家とは？ (建築士の資格のある人)

設計事務所 建築主の立場になれるでしょう。(設計が本業ですから)

建築会社の設計士 建築主の立場で考えるというより、建築会社側の立場にならざるを得ないでしょう。(何故なら、建築会社は施工するのが本業で、その本業の下で、指示を受けての設計しかできないからです。)



工事監理者とは？

設計事務所 設計段階で、充分意思疎通をはかった設計士が最適。建築主の立場で監理ができます。

建築会社の設計士 建築主の立場で考えるというより、所属している会社の立場に立たざるを得ないでしょう。

